

## フライミューンとMeiji Seikaファルマによる

### がん治療薬および自己免疫疾患治療薬に関する共同研究契約締結のお知らせ

2019年11月28日

HuLA immune（株）

フライミューン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：神藤康弘、以下「フライミューン」）はこのたび、ヒト白血球抗原（Human Leukocyte Antigen、以下「HLA」）に関する技術を応用したがん領域および自己免疫疾患領域を対象とする研究について、Meiji Seikaファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎、以下「Meiji」）と共同研究契約（以下、「本契約」）を締結しましたのでお知らせします。

本契約に基づき両社は、がん種特異的抗原を標的とした免疫学的がん治療薬創出に関する研究、および抗原特異的な自己免疫疾患治療薬創出に関する研究を共同で実施します。

フライミューンおよびMeijiは、これまでも自己免疫疾患やがんに対する新規治療薬の研究・開発を別個に進めてきましたが、それぞれの研究・開発を通じて得たノウハウを共同研究に応用することで相乗効果が期待されます。

フライミューンはMeijiとの共同研究により、革新的医薬品の創出を目指し、がんや自己免疫疾患の治療に貢献できるよう努めてまいります。

以上

#### 参考

<Meiji Seika ファルマについて>

Meiji Seika ファルマは、感染症治療薬・中枢神経系疾患治療薬・ジェネリック医薬品の3つの柱を軸に、国際展開力を有する「スペシャリティ&ジェネリック・ファルマ」として、多様な医療ニーズに応えています。また、さらなる発展が期待されるアンメットメディカルニーズのある新たな分野へ、様々なモダリティを用いて積極的に取り組んでいます。

詳細については<https://www.meiji-seika-pharma.co.jp>をご覧ください。

<フライミューンについて >

フライミューン（HuLA immune）株式会社は自己免疫疾患やがん等の難治性疾患を対象に、大阪大学微生物病研究所兼免疫学フロンティア研究センターの荒瀬尚教授が提唱する“ネオ・セルフ”理論を応用し、アンメットメディカルニーズとなっている自己免疫疾患やがんの治癒を可能とする画期的な医薬品の開発を目指した大阪大学発創薬バイオベンチャーです。従来の対症療法からHLAに関するノウハウを応用した抗原特異的な自己免疫疾患治療及びがんの免疫療法に革新をもたらす新たな治療薬の開発を行っています。

問い合わせ先・フライミューン株式会社 総務部 Tel: 03-5157-1388 E-mail: [info@hulaimmune.com](mailto:info@hulaimmune.com)

<https://www.hulaimmune.com/>